

刊夕日五十月二十



定額一冊五錢 一ヶ月五拾錢 郵費五厘  
 廣告料五錢 一頁一行五拾錢  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常警日新聞社  
 印刷所 常警日新聞印刷株式會社

### 郡下兒童唱歌會感想

荒生

去る十九日平第三校に於て催された、石城郡内小學校兒童の唱歌會を聴いた、参加校二十七、プログラム番外を入れて八十回午前十時より午後三時までほとんど休みなしの熱演振り、聴手も又出演校の先生方や出演兒童の父兄等が主であつて吾教へ子愛し子の出来榮えや如何にとなごやな中にも終始緊張した氣分であつたことは近頃珍らしい有益な會であつたと思ふ。

この種の催しは殊に郡聯合といふ様な大掛りのものは多くは龍頭蛇尾になり勝であるがこの會は回を重ねる五回も年々その内容と成績とが向上共實して行くを見て、藝術教育としての音樂教育の上から言つて誠に慶賀すべきであると思ふ、又かくの如く年と共に盛會に舉行されて行けると言ふことは社會が眞面目に藝術の社會人心に及ぼす影響の甚深であり具偉大であることに氣がつきその教育のゆるがせに出来ない事を悟つて来たことにも依るが何と言つても、これを主となつて催したり計畫したりする平校の先生方又は毎年

種々の事障を排して出演させて呉れる各學校の先生方の絶えざる熱意を見逃すことが出来ない。  
 私はこの意味に於て先づ本校の先生方並に毎回よく出演させてくれる各學校の先生方に對して大いに敬意を表したい。そして今後も益々斯道の健全なる成長のために更に更に絶えざる御盡力をお願いしたいと思ふ。  
 私はこれまでは常に出演者の立場に在つたがために自分で言ひたいこと、共に更めたへと考へたこと、又は大いに助長せしめたへと思ふこと等は總て發表を控えて居たが、今回は幸にも第三者の立場となつて聴くことが出来たのでこの機會に自分の考へや何かを取交せて大體の批評を試みたいと思ふ。幸にも私の批評が幾分でも斯科の正しい成長の一滴の筆の役目でも果し得れば本懐である、で本稿に於てはつとめて今回の唱歌會のことをのみ書くつもりだがその本論に入るに先づ、私の言はんとする態度、唱歌會の目的觀と言つた様なものを明らかにして置くことは事の順序から必要であると思ふので一應簡單に述べて見たい。

大体左の數種に別ける事が出来ると思ふ、先外形上から

- 一、學級唱歌會 二、校内唱歌會 三、隣校と聯合の唱歌會 四、郡聯合又は縣聯合唱歌會 五、國內聯合唱歌會 (過日催された全國兒童唱歌コンクールの如き)

之を組織の内容からは一、學藝會としての唱歌演奏 二、舞踊又は童話、劇會等としての唱歌演奏 三、唱歌のみの演奏會 之を又目的から見ると

- 一、一般の俱樂部としての會 二、基金又は義捐金募集のための會 三、斯科向上に資するための教育的會 大體以上の如く分類することが出来ると思ふ、故にその目的性質からその方法

### 文藝募集

も、内容も自ら異つて來るのは當然と思ふ、主催者並に出演者は常にその目的と性質とを確認して、その方法に誤りなきを期すること、は何よりも重要なことと思ふ。

## 外科

門專光 X  
 科線  
 上田外科醫院  
 平町南町  
 電話一二九番

## 貸切の●●●

☒ 用命は!!!

獅子吼 四四九ノ勢デ  
 マツサキ  
 眞先ニ…… (マツサキ)  
 ミクニ  
 三九二タクシーへ!!!

耳鼻咽喉科等門  
 鈴木 正男 醫師  
 醫學士 鈴木 正男  
 平町田町(電話五八番)  
 藤田女學校前  
 自炊のお需めに應ず  
 入院の便あり

鼻病、腦病 化學治療薬 ビノサン  
 小壹圓貳拾錢、中貳圓、大五圓  
 蓄膿症其他鼻病と頭痛症神經衰弱等の諸症が簡單にして他類の無い一日一回の用薬で手軽に僅かな費用で治療の出来るビノサンが發表されました今すぐ用で劃期的快癒の喜を得て下さい  
 御來店の方に鼻病説明書無代進呈此廣告御持參の方に一入一回試薬致します  
 福島縣平町白銀町五(千代メツキ店裏)  
 石城郡特約店 村山書店  
 販賣御希望の方特に御相談に應ず

## 織元直賣

メチヤク 御素人様も  
 大安賣 御商人様も  
 是非御來場



十二月 十七日 午前九時ヨリ  
 十八日 午後五時マデ

場所 平町四丁目角  
 マルトモホール

特別奉仕品  
 午前九時 晒 正一反 二十五錢  
 午後一時 腰巻 十錢

製造 京都物産  
 問屋 合資會社  
 萬一賣切の節は御斷り申ます

# 綿服着用等

## 女子らしい協議

けふの女子青年方部總會

既報石城郡聯合女子青年團  
第三方面部、飯野、内郷、  
神谷、高久、豊間、夏井、  
好間、平窪、赤井、小川、  
川前の

### 總集會

は本日午前十時より平館に於いて開催定  
刻副團長飯野小學校校長谷  
川政氏の開會の辭に次いで  
伊勢神宮宮城を遙拜國歌合  
唱團長平第二小學校長津田  
達造氏の詔書及び令旨奉讀

### 來賓として

平第一小學校校長藤山廉氏の祝辭あつ  
て議事に入り左記八項目に  
亘る實行要目を決議終つて  
時代に醒めよと題して豊間  
村團員鈴木アキさん及び  
「更生の生活」と

### 題して

赤井第一團員  
平澤トチさんの演説あり本  
縣社會教育主事補齋崎周之  
助氏の「非常時に於ける女  
子の使命」と題する講演終  
つて映畫結婚適令期其他二  
三を觀覽午後三時閉會した  
が

### 出席者

は會員千餘名  
來賓百餘名あり頗る盛會を  
呈した

- 一、諸集には必ず國歌合
- 一、大祭祝日に國旗掲揚
- 一、毎朝神佛を清淨し禮
- 一、諸集會に綿服着用

特注意  
一、貯金の實行

平第二校 平第二  
珠算競技 小學校

では来る二十一日午前八時  
半より同校講堂に於て玉手  
佐藤鈴木松本各訓導係りの  
下に五年生以上の珠算競技  
會を催すが種目は讀上算見  
取算暗算等であると

## 戸數割滞納

### 前期一萬五千圓

明春早々強制處分に

平町では去る七月中發付し  
た前後兩期分本年度の特別  
戸數割のうち前期分の滞納  
一萬五千圓餘あり是れが督  
促整理に努力して居るが今  
度は後期分四萬五百圓の  
戸數割を来る廿六日迄に納  
付せしめるべく本は通知狀  
を發した前期分滞納額は本  
月末迄に整理し明春早々強  
制處分に附する事になつて  
居ると

## 教育行事

### 方針を協議

平町各小學校長及び各首席  
訓導は来る二十日午後一時  
より第一小學校に於て打合  
せ會を開き本學期の行事及  
び教育方針に就いて種々協  
議すると

## 江筋組合協議

鮫川  
江筋組合では来る廿、廿一

## 平町の虎眼

### 患者八百十五名

既報平町では去る四日より  
十三日迄の九日間全町のト  
ラホーム診斷を行つた結果  
市内四千八百十六戸の内檢  
診人員六千三百四十九名に  
及んだが患者數は八百十五  
名で各區の患者數左の如く  
である

- 新町長橋四六 研古四八
- 紺屋町五一 田町五四
- 一丁目二二 二丁目二四
- 三丁目二三 四丁目二〇
- 五丁目一八 新川町三三
- 材木町三二 鍛冶町三一
- 南町二一 久保町一九
- 胡摩澤四八 北白銀二〇
- 仲間町四四 鎌田三六
- 立町二九 堤ノ内三月
- 見町一九 大工町二三
- 南白野二三 搔樋小路五
- 四 舊城跡六 鐵道官舎
- 七 八幡小路三〇 北目
- 町一二 大町十五丁目一
- 九

## 仲の作漁港完成

明春からは漁船を收容

江名町字仲ノ作漁港修築工  
事は工費十六萬圓で昨年度  
より着工本年度を以て完成  
せしめる豫定で最も重要な  
防波堤の築造を終へ現在は  
港内の浚渫並に護岸工事を

經費豫算並に賦課徵集方法  
を縣に申請中であつたが此  
程許可された

## 平町人事

回出生

△南町六四 岩本朝吉氏四  
男光雄

回死

△彌宜町六 金成清保(四  
〇)  
△古鍛冶町八七 磯野熊之  
助(六九)

## 一冊の代金で

御希望通りな

## 五冊の雑誌が

## 自由に讀める

## 川崎巡回文庫

電六三〇番  
(申込次第規則書進呈)



## 巻の話題

だらうと思つて

群馬縣北甘樂郡福島署で  
一人の男が取調べられてお  
る。「本官を誤魔化そう  
つたつてそりや駄目だ、さ  
も息ぎれがしたやうにかけ  
込んで來てもその息づか  
がホン物か偽りかチャン

判るさ、どうだうぞだらう」

「へえ恐れ入りました、實  
アその何で隣の助の野郎か  
ら百圓どこ借りてるんです  
が、あ奴は商賣に似合ねえ  
涙つばい男なもんですから  
泥棒に入られて百圓そつと  
り盗まれたと言へやきつと  
棒引にしてくれるだらうと  
思つたんです、へえ」

逃げる者は、いまでも追  
ふて捕へてこそ職に忠なる

「好きたつて無闇に入ら  
れん」「入れてくんないア  
おいらア一寸も動かねえ」

「世話が焼けるな」「その世  
話焼いてくれよう」「バ馬  
鹿ッ、警察ぢや飯は食はせ  
ぬッ」「置いてくれ、ばい

「へえ、これだ始末にお  
へぬこと夥しい、名前は何  
と言ふんだ」「入れてくん  
ないア言はねえよ」「勝手  
にしろッ」

本宮町海野吉平(三)は日  
頃顔馴染の二人からおごら  
うと誘はれ遠慮なくおごつ  
てもらつてゐたのだつたが直  
ぐ歸つて來る筈の二人は幾  
ら待ても歸つて來ないの  
だつた、そう言へば「借り

て來て景氣よく飲もう」と  
云つて出て行つた後から、  
「喧嘩でもされては困るか  
ら」といつてもつとももし  
く出て行つた二人なのだつ  
た、歸つて來る筈がないと  
氣づいた時は後の祭り「な  
い程たゞ飲みに斯んな手  
もあつたのか」と吉平どん  
は二十餘圓の會計を脊負は  
されてひどく感じたこと  
である

……x……

美味!

芳醇!

# 宗正らひた

山崎合名會社  
電話一〇番

## 長唄

## 花柳流

## 舞踊

御稽古を  
おすゝめ  
致します

美味で!  
評判の……

イワキ

電 352

サロ

# 若人よ!

## 所在何處?

### 平町に不明者六名

過般行れた石城郡下本年度徴兵検査に際し所在不明の爲め検査を受けぬ未済者は平町及び内郷の六名を筆頭に湯本、小名濱各五、江名四、四倉三、勿來、川部田人、飯野、神谷各二渡邊山田、錦、上遠野、豊間鹿島、玉川、好間、永戸三坂、大浦各一計五十名であるが平町の不明者は左の如くである

### 冬の休み 愈々近づく

平町各中等學校では来る二十三日第二學期修業式を舉行二十四日より冬季休暇に入るが各小學校では二十七日修業式を舉行二十九日より休暇に入ると

# 犯罪豫防の座談會

## 警察部長が臨席

来る十八日平署に

既報平署では本十五日より廿一日迄の犯罪豫防週間の一試みとして来る十八日午前九時より同署會議室に管内各官衛長、會社、銀行、各組長、新聞記者等二百餘名を招いて犯罪防止の座談會を催すが尙當日は渡本縣警察部長が臨席する

## 除隊兵の感想講話

好間村字下好間出身歩兵上等兵鈴木登君は鐵嶺獨立守備隊より今回除隊歸郷したが去る十三日母校好間第二校に記念品を贈り在營感想を講話した

## 算術研究教授

平第三小學校遠藤訓導は本日午前十時より三年生に對し算術の研究教授をしたが終つて午後二時より職員一同にて批評會を開いた

## 齋藤場長講演

農事試験分場の齋藤場長は来る十七日會津郡農會の農事特別講習會に出張蔬菜の促成と軟化栽培法に就いて講演する

# 自轉車の乗り逃げ

## 大騒ぎで取押ふ

昨夜湯本町字八仙森野龜太郎方前に立掛けて置いた自轉車を労働者風の男が飛乗つて逃走を計つたので大騒ぎとなり附近の者が追ひかけて取押へ平署に突出したが同人は秋田縣生れ住所不定高橋平助(三)で余罪多數あるらしいと

## 永戸村陪審員

永戸箕輪組合村の陪審員は今回左の如く決定した  
藁谷團次、合津竹四郎、阿部友秀

## 平商操行査定

平商では本日午後一時より同校會議室に於いて四年生以下の操行査定會を催した

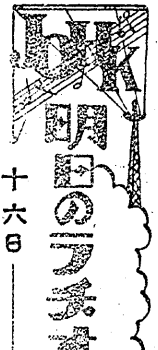
# 欠食兒減少

## 平町に僅か三名

平町では此程各小學校に於ける本年度給食兒童を調査した所に依ると第二、第三兩小學校には一名もなく第一小學校に僅か三名あつたのみで昨年よりも非常に減少してゐる之は目下着工

## 裁判所だより

△双葉郡浪江町大字權現堂



明日のラジオ

今晚も明日も北西の風晴曇半す

- 今晚の部
- 後六、〇〇 子供の時間
  - お話「發聲漫畫の出来るまで」大石郁雄
  - 後六、二五 基礎佛話講座 (二十六) 目黒三郎
  - 後七、三〇 講演「硫黄バクテリアに就て」廣島高等師範學校教授 濱健夫
- 明日の部
- 後八、〇〇 謠曲番噺子「小袖會我」實生重英外
  - 後八、五〇 合唱とオルガン(合唱)東北學院教會聖歌隊(オルガン)獨奏と伴奏 黒沼半四郎
  - 後九、三〇 時報 ニュー! 氣象通報 番組豫告

- 前七、〇〇 基礎獨語(三十八)橋本忠夫
- 前九、一〇 料理献立
- 前一〇、三〇 婦人講座 中河幹子
- 後〇、〇五 俚謠「民謠の旅」追分節外數種山下真潮
- 後二、〇〇 婦人講座「小學生の作つた詩」百田宗治
- 後五、〇〇 職業紹介事項
- 後五、二五 受驗講座「化學」今泉義夫
- 後六、〇〇 子供の時間 兒童劇「其の後の兎と龜」

# 從業員の慰安地

## 採炭夫が出動して 奉仕作業を行ふ

湯本町入山炭礦ではグラウンド傍らの臺の山に從業員の慰安地を設ける爲め目下公休日を利用して採炭夫が出動奉仕作業を行つて居るが同地内は舊湯本町の公園地であつた處炭礦の發達と共に鑛毒で樹木が枯死し屢々更生策を講じた事あり今回の事業は非常之期待されて居ると

鳥喰九土工前科一犯鈴木壽(三)が去る五日午後五時半ころ同町志賀醫院前にあつた同町阿久津信平氏所有の自轉車一臺價格二十五圓を窃盜し同町佐川八郎氏に七圓で賣却した外四ヶ所より自轉車木炭等價格五十餘圓を窃盜した事件の公判は本日午前十時より平區裁判所に於て中島判事係り三堀檢事立會の下に開廷され事實訊問の上檢事より懲役一年を求刑されたが判決言渡しは来る十八日午前九時である

## 平職業紹介所報告

△求人を求める方  
△菓子職人 二十位 尋卒

## 月十五圓

△自動車助手 十七才 尋卒  
△商店員 十八才 高卒  
△給料面談  
△給料面談 四十才 月十三圓  
△給料面談  
△小使 十八才 農村校二修 給料面談  
△小使 四十才 高卒 給料面談  
△料理人 四十才 尋卒

# 木村外科醫院

門專科病柳花外 院醫科外村木 際橋目丁五町平 〇九三話電

## 看護婦急派の求めに應じます

## 平看護婦會

電話三〇七番

- 給料面談
- △事務員 佑賢卒 給料面談
  - △炊事婦 四十七才 無學 給料面談
- 仙台市上杉山通小學校兒童指揮伊藤博  
後六、二五 講演「冬の吾妻」齋藤陽吉  
後七、三〇 時事解説  
後八、〇〇 映畫劇「陣屋」の正太郎 日活時代劇部 杉山昌三九 雲井龍之助 山田五十鈴 その他大せい演出辻吉朗  
後八、五〇 ビデオ四重奏  
ビデオ四重奏 曲變ホ長調 作品十六番 ベイレーン  
エン作曲第一樂章 グラジエ  
エンレグロマン ノントロシ  
ポルトビアン ロタクロワ  
テットビアン レオシクロ  
ヴィオラ橋本國彦



# 銘劍秘刃録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶馬琴演  
山本英春畫

第百十五回 此處に崇る妖刀

此處に寛政四年二月の頃、下谷青石横町(今の松坂屋呉服店の横手)に手廣の住居を致す本阿彌貞甫と云ふ有名の刀劍の鑑定家があつた、その家の獨り娘おゆきといふのは今年十九の春を迎へ、名代の容貌美しにて美人番付には三枚目を下らないと云ふ位、女の道一通は言ふも更らなり、見よう見似ねで刀の鑑定も少しはやる、世間の評判者であつたが、選びに選んで漸く定つた婿の本庄三郎兵衛といふ、これは徳川の旗本、本庄武八郎の次男で、年は二十八、文武の道にも暗からず、才智優れた者で男態として決して悪くない、先づ本阿彌の婿には過ぎ者であるところがこのおゆきには豫ねて言ひ交した男があつて婚禮の夜俄かに家出をしてしまつた、家内の騒動一方ならず、貞甫夫婦も氣も轉倒せんばかり、人を八方に出して搜索したが遂に行方知れず、本庄武八郎は立腹を促す、貞甫も進退谷つて切腹して申譯するといふ様な騒ぎになりました、中に一番怒らねばならぬ、



變つてその年十二月のことは淺草門跡裏芝崎町、路次の戸もこわれかゝつて、『四ツッ切』といふ札は名ばかり、其の實は切るも切らぬもない開けつ放し、この裏長屋は兩側で八軒ばかり、何れも大世話場で鍋釜も八軒でかわる／＼使ふといふ有様、この長屋へ今年六月頃麻布の方から引越して來た年若の夫婦、夫は浪人者で長の病ひ、今なればリニューマラスとでもいふやうな病、足腰立たずまるでいざり同様、女房といふは貧苦のためやつれては居るが天性備はる美貌の持主で

の三郎兵衛が少しも動ぜず静かに舅の死を止め、實父をなだめ、たとひ娘は居らずとも某は縁あつて當家の婿となつた以上は再び實家へは歸りません、と遂に本阿彌の家に止まり、養父母へ孝行をつくす、その志に

ど何れも稼業に出てしまひました頃、夫は病に伏し枕許には薄暗い破れ行燈を前に妻のおゆきが針仕事をしていたが、つく／＼と夫の寝顔を差覗き「お思ふ出せば今年二月二十日の晩、青石横町の實家を脱出し麻布の廣尾に人目をさげ隠れてあるうちこの五月から夫の病ひ醫者と薬で僅かばかりの貯へも使ひ果しこにも居られずこの芝崎町へ引越し程遠からぬ觀音様へ日參の利益の今に見えぬのは、これも不孝のこの身お親父さんやお阿母さんのお怒りも解けずさぞ恨らんでゐなさう、噂に聞けば矢張り三郎兵衛を養子に貰ひこの六月お家督をお譲りなされたとやらそれで少しはこつちの心も休まつたけれど何にせよ采女さまがこの病ひ、一日も早く本腹なさらねばどうにもならぬ此の場の仕置」と胸に手を常て思案に沈む折から眼を覺ました

夫「おゆきおゆき」と呼ぶ聲に  
ゆき「あなたお眼が覺めましたらお薬を差上げませう夫「いや薬は飲みたくないが私は今悲し夢を見た」  
ゆき「何悲しい夢とおつしやるわどんな夢でういます采「さあ、つらいせつない思ひをして、其方と別れた夢を見たのだ」  
ゆき「ふ、聞きとうもない不吉な夢話、桑原々々」  
打消す所へゾロ／＼と入つて來は米屋の蔵、薪屋の

八兵衛、酒屋の久兵衛打ち揃つての借金取り  
「ハイご免なさい」  
と闕の曲つた戸をガタビンとやつて開けて入るを見ゆき「おや皆さんようお出でなさいました」  
「いやよくも來ませんが今夜斯うして講中揃つて來たからは、いつものやうに糠にくぎではなくしつかりとした挨拶を聞きに來ました」  
と腹立き紛れの憎れ口。

子供服とオーバー賣出し

お坊ちやま「お嬢ちやまの楽しい  
嬉しい お宮参りに可愛らしい  
なかやの子供服とオーバを御選  
擇のほどを……

ふかや洋服店 平三 電203

市原醫院

平町 田町  
電話一四番

愈々公開

十二世の驚異映畫

・グンキ  
・グンコ 聲發全

毎日 平館

會葬御禮

馬目太平治

吉田眼科病院

平紺屋町電話六八番

眼科専門 院長吉田安雄  
醫學士吉田久雄

中村齒科醫院

平町鍛冶町七